

クマ被害防止対策への支援強化を求める意見書

全国的にクマの生息域が拡大し、連日クマによる人的・農産物への被害について報道されている。当市においても、これまでの目撃件数は過去最多を更新し、住宅街や学校周辺にも出没するなど、地域住民の安全・安心な日常生活を脅かす災害級の事態となっている。改正鳥獣保護管理法の施行後、本年 11 月には、県内で初めての緊急銃猟制度による駆除が行われるなど、クマの生息域拡大に伴い、平穏な日常生活に緊張を強いられ、生命を脅かす差し迫った状況にあることから、クマ被害防止対策を確実に推進していくことが求められる。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 クマの出没防止対策を始め、緊急銃猟の実施体制の整備や担い手の育成・確保への支援強化を図ること
 - 2 ガバメントハンターの配備やクマの個体群の適正な保護・管理の推進など、国が主体的に実効性のあるクマ被害防止対策を行うこと
 - 3 電気柵の設置や緩衝帯の整備等の対策を講じているものの、クマの出没頻度や被害が急増し、さらなる被害防止対策の推進が求められていることから、交付金の確保など財政支援の充実強化を図ること
 - 4 改正鳥獣保護管理法を踏まえ、緊急銃猟ガイドラインの詳細な解説や現場対応を想定した研修会の開催など、クマ被害防止対策に関わる関係者が制度を円滑に運用できるよう支援の強化を図ること
 - 5 クマの駆除に関し、捕獲従事者等に過剰な批判が寄せられていることから、法に基づく許可捕獲制度による地域の安全確保であることやアーバンベアの捕獲の必要性など、捕獲に対する情報発信を強化し、幅広く社会の理解を求めていくこと
- 以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

福島市議会議長 白川 敏明

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
農林水産大臣
環境大臣

あて

以上、提案する。

令和7年12月25日

提出者

福島市議会議員

高木直人
遠藤幸一
二階堂利枝
浦野洋太郎
佐藤勢裕
山田真紀
佐原雅昭
根本正実
鈴木正人
大平洋典
半沢正典